いろは歌（1）

古典の仮名遣い（づかい）

古典の文章は、主に平安時代中頃（ごろ）以前の日本語の発音をもとにした仮名で書かれており、これを**歴史的仮名遣い**という。これに対して、現代の仮名の書き表し方を**現代仮名遣い**という。

（例　歴史的仮名遣い　→　現代仮名遣い）
　　あふぎ（扇）　→　おうぎ

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すときは、次の規則がある。

①語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」→「わ・い・う・え・お」
（例）あはれ→あわれ　いふ→いう
※語頭のハ行はそのまま。
（例）ふみ（文）→ふみ
※助詞「は」「へ」などもそのまま。
（例）花の色は→花の色は

②「ゐ・ゑ・を」→「い・え・お」
（例）ゐる→いる　こゑ→こえ　をとこ→おとこ
※助詞「を」などはそのまま。
（例）それを見れば→それを見れば

③「ぢ・づ」→「じ・ず」
（例）なんぢ→なんじ　いづれ→いずれ

④「くわ・ぐわ」→「か・が」
（例）くわじ（火事）→かじ　きぐわん（祈願）→きがん

⑤助動詞や助詞の「む・なむ」→「ん・なん」
（例）あはむ（逢はむ）→あわん　竹なむ→竹なん

⑥母音（ぼいん）（a・i・u・e・o）が連続するとき
・**au**（ア段＋う・ふ）→ **ô**
（例）やうす（様子）→ようす
・**iu**（イ段＋う・ふ）→ **yû**
（例）うつくしう（美しう）→うつくしゅう
・**eu**（エ段＋う・ふ）→ **yô**
（例）けふ（今日）→きょう

確認テスト

(1) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、**ひらがな**で答えなさい。

にほへど

(2) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、**ひらがな**で答えなさい。

ゑひ

(3) 次の中から、――線部の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したものとして、適当なものを選びなさい。

ア ほのかに → おのかに
イ 秋は夕暮れ → 秋わ夕暮れ
ウ 泣きゐたる → 泣きいたる
エ 竹を取り → 竹お取り

(4) 次の中から、――線部の歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したものとして、**適当でない**ものを選びなさい。

ア うるはし → うるあし
イ をかし → おかし
ウ よろづ → よろず
エ にんぐわつ → にんがつ

(5) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、**ひらがな**で答えなさい。

やうやう